

# 1年間の「探究」の成果をご覧ください

福井県では昨年度から、新学習指導要領に先行する形で「課題解決型学習モデル開発事業」に取り組んでいます。その事業校6校の高校生が一堂に会し、自分たちの実践について発表したり、交流・討議したりする「成果報告会」を下記の通り開催します。地域の課題や未来などについて互いの考えや取組みを共有する場を持つことで、課題解決型学習の一層の推進と、これからの時代に必要となる生徒たちの「資質・能力」の育成を図ります。

1 日 時 令和2年2月11日（火・祝）10：00～16：00

2 主 催 福井県教育総合研究所

3 会 場 福井県教育総合研究所（坂井市春江町江留上緑8-1）  
※同じ敷地内の自治研修所大研修室を使用します。

4 日 程（予定）

9：30～10：00	受付
10：00～10：15	開会式
10：15～11：45	ポスターセッション（各校2グループによる発表）
12：45～13：35	パネルディスカッション（パネリスト：各校1名）
13：50～15：00	参加者全員によるワークショップ
15：10～15：50	全体発表、次年度に向けて
15：50～16：00	閉会式、諸連絡

5 参加者

課題解決型学習モデル開発事業校生徒・教職員

助言者 福井大学大学院 連合教職開発研究科 准教授 木村 優 氏

福井大学大学院 連合教職開発研究科 准教授 遠藤貴広 氏

福井大学大学院 連合教職開発研究科 特命助教 王 林鋒 氏

県内中学校・県立学校の生徒・教職員、地方公共団体職員、一般参加者 等

6 発表校（課題解決型学習モデル開発事業校）

羽水高等学校 敦賀高等学校 若狭高等学校 丸岡高等学校 勝山高等学校 鯖江高等学校

7 参考

【新学習指導要領等を目指す三つの柱（文部科学省）】

(1) 生きて働く「知識・技能」

(2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」

(3) 学びを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性等」

激しい変化が予想されるこれからの時代、生徒たちがよりよく生きていける力をつけるために、「課題解決型学習」が注目を浴びています。生徒たちの1年間の成果を是非ご覧ください。午後のパネルディスカッションのパネリストも各校代表生徒6名が務めます。ワークショップも参加者全員で行う予定で、協働型の取組みをご覧くださいと思います。